

あんなこと、こんなこと、いろいろあった一年を振り返ってみました

# 平成19年度の主な事業

最小の経費で最大の効果をあげるべく、市では効率的な行政経営を進めながら、「温かく、活力と希望あふれる本庄市」を創るため、さまざまにまちづくりの事業に取り組んでいます。ここでは、平成19年度に新たに実施した主な事業をご紹介します。



本庄市は安全で活力と希望あふれる安心のまちを目指しています

「市民参加と協働」をテーマに掲げた本庄市総合振興計画が策定されました。策定には、公募の市民からなるまちづくり協議会の提言、市民アンケートの実施、公募の委員を加えた総合振興計画審議会による審議、さらにはパブリックコメントなどにより、多くの市民からご意見をいただきました。今後は、本庄市の将来像「あなたが活かす、みんなが育む、安全と安心のまち 本庄」の世のため、後のため」の実現に向け、まちづくりを進めていきます。



今後10年の指針、総合振興計画を策定



昨年6月から工事を開始していた見玉中学校の新体育館が、2月29日に完成しました。新体育館は鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）2階建てで、1階のアリーナのほか、2階には柔剣道場を配置しています。3月14日には卒業式の会場として使用されました。今後は、教室棟などが順次整備されていく予定です。

見玉中学校の  
新体育館が完成



寿学童保育室

寿学童保育室（寿2丁目）を4月2日に、藤田学童保育室（藤田小学校内）を9月1日に、それぞれ公立学童保育室として開設しました。寿学童保育室は、市内にお住まいの内藤文夫さんから寄附をしていたいただいた施設で、一方の藤田学童保育室は、市内初の小学校内に設置された学童保育室です。2つの学童保育室は、いつも子どもたちの元気な声でいっぱいです。

寿・藤田の  
学童保育室を開設

## 『総検校塙保己一先生遺徳顕彰会』を設立

児玉郡保木野村（現児玉町保木野）出身の塙保己一を本市のシンボルとし、日本全国はもとより広く世界に向けて、保己一の遺徳と事績を顕彰し、その精神の普及を図るため、7月26日に『総検校塙保己一先生遺徳顕彰会』が設立されました。

セルデイで行われた設立総会では、事業計画や予算などを可決し、遺徳顕彰会が船出をしました。



## 市内の3橋が 国の登録文化財に

市内の寺坂橋、賀美橋、滝岡橋の3つの橋が、3月7日、国の登録文化財に登録されました。これらの橋は、「国土の

歴史的景観に寄与しているもの」として評価されたものです。身近にある貴重な文化財に、みなさんぜひ接してみてください。



石造アーチ橋として県内最古の寺坂橋

## 第5次住居表示を実施

11月1日から第5次住居表示が実施され、新しく朝日町1〜3丁目、五十子1〜3丁目、四季の里1〜3丁目の地名が誕生しました。また、朝日町土地区画整理事業により街区が大きく変わっている寿1丁目地区は、新しい街区割りの番号に変更されました。



## 『つみっこ』を 本庄市の名物に

練った小麦粉を鍋に入れるしぐさが、桑の葉を摘む様子に似ていることから、『つみっこ』の呼び名で食べられていたすいとんを本庄市の名物にしようと、さまざまな事業を行いました。9月から募集を始めた『つみっこ』のメニュー店は、11月3日に27店舗でスタート。本庄まつりなどでも『つみっこ』が振る舞われましました。1月12日には市民プラザで第1回新春本庄名物つみっこ合戦が盛大に開催され、2,000人以上の人に『つみっこ』を賞味してもらいました。



本庄名物『つみっこ』をよろしく

## 競進社模範蚕室が 第1・3日曜にも開館

6月から競進社模範蚕室（県指定文化財）が、毎月第1・第3日曜日に限り、事前の申し出をすることなく、どなたでも入館できるようになりました。

した。全国でも珍しい産業教育施設であり、12月には経済産業省から近代化産業遺産に指定され、2月には彩の国景観賞を受賞しました。



## 本泉地内で 防災訓練を実施

近年、全国的に多発している集中豪雨による土砂災害に対処するため、5月27日、本泉地内の土砂災害警戒区域の市民を対象に防災訓練を実施しました。この訓練により、災害時の被害を最小限に抑え、とめることが期待されます。



## 児玉総合支所に 子育て支援室を設置

5月から、児玉総合支所内に新たに設置した子育て支援室で、乳幼児親子が交流できる『児玉つどいの広場』を開始しました。毎週月・水・金曜日に開催しています。水曜日には遊びの講座なども行っています。



## 広告掲載を有料で開始

市では、地域経済の活性化を図るとともに、市の財源を確保するため、有料広告事業を始めました。市ホームページは5月から、市の公用封筒は9月から、それぞれ広告の掲載を開始しました。